

Urban Design Lab. Magazine

2016.01.31 vol. 237



「伝えかた」の蓄積

HISTORY OF DESIGN IN URBAN DESIGN LAB.

— 都市デザインを「デザイン」する —

まちあるきマップ p.2
パース・スケッチ p.4
ポスター・チラシ p.6

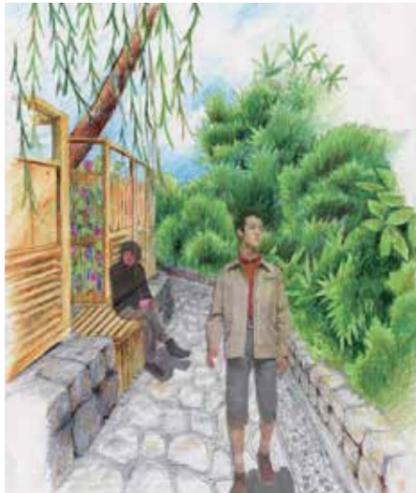
東京大学
工学部都市工学科/
工学系研究科都市工学専攻
都市デザイン研究室

<http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/>

今月の編集担当：中井雄太 砂塚大河
編集長：今川高嶺
編集委員：中島健太郎 高橋舜 中井雄太 浜田愛
黒本剛史 砂塚大河 富田晃史 王誠凱

パース・スケッチ

Perspective Drawings & Illustrations



佐原 PJ 香取市公共施設修景プロポーザル
「塀 × 格子 × 水路」

2007

PICK UP!
まちなかの豊かさを魅せる案だが、色鉛筆を用いた表現のため非常に繊細な描き込みを行っているものが多いのが特徴。また、写真の組み込みも丁寧に行っており、CGのみでは表せない独特な雰囲気有する。

▼壁面線回復案。
不連続な壁面にかつての空間構造を取り戻すための「かさぶた」を具体的に表現



2009

高山 PJ
「越中街道 まちなみぎやらしい」

PICK UP!
まちの建物と街路の境界に着目したデザイン・設計提案のため、外溝の豊かさに工夫がみられる。また描き込みが非常に細かいのも特徴。

◀▼外観パース及びアクソメ図。外観は提案部分のみに比較的シンプルな着彩をして浮き上がらせている



壁面線回復によって生まれたすき間を埋めて輸入に当たるまでの間、うるおいあるまなこにわたして再生する。黒縁ある質の高い壁に。



高山 PJ
「WS アイデアカード」

PICK UP!
WSで用いたと思われるカード群にあったイラスト。施設や空間を表現したものではなく、自然風景の中の動的なものに着目したイラストが多い。

▶水の流いやまちの営みをメインに多くのスケッチが残っていた



▲ミナトブンカサイイラスト

清水 PJ
「ミナトブンカサイ」

2012

PICK UP!
ミナトブンカサイの昼・夜でどのようなアクティビティが行われるかをシルエットで表現。アクティビティごとに色が違い、多様さが垣間見える。これらは告知のチラシに利用された。



▲ミナトブンカサイ夜の様子



PICK UP!

内観イラストが「こども」をメインテーマとしているためかへたウマで味がある。また広角な描写により広がり豊かさを感じるものとなっている。ベースの紙が白紙ではなく、クロッキー帳風の色であったため、全体的に色温度が高めの表現となり、どのイラストも一体感が生まれている。

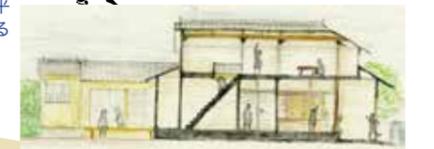


◀内観パースはイラストと模型写真を用いて表現

佐原 PJ 歴史的空間再編コンペ
「まちなか こどもだむ」



▶▶外観パースや断面図をはじめ、平面図もイラストで表現している



佐原 PJ
「下新町灯りあそび 2010」

▼灯りの温かみが出るようにモノクロ調に統一した内観・外観



▲実物に忠実な外観パース

神田 PJ
「超多町探検」
(表紙)

2015

三国 PJ 歴史的空間再編コンペ
「帯の幅ほど生活圏」

2014

PICK UP!
まちの要素を表したイラストを冠したまちあるきマップ。写実的ではなく不思議な色合いを醸しだしている。



パース・スケッチを取り上げた本項では、都市デザイン研究室のメンバーが都市空間をどのように捉え、表現したかを感じることが出来る。地図とは異なり、個人の技能・センスによるところが多いと考えていたが、比較検討してみると、そのPJ独自の雰囲気をうまくとらえたものが多かった。毎週積み重ねられるMTGや現地でのWS・まちあるきなどで醸成されたPJメンバーの意識が、表現者の代弁によって表出したものといえるのではないだろうか。なお、これらのパース・スケッチは半数ほどがPJ対象地を舞台としたコンペに用いられており、それぞれ輝かしい成績を残していることも記したい。(編集:M1 中井)

ポスター・チラシ

Posters & Flyers

新しい夜を楽しむイベント
ヨルトモ '08
 9月13日(土)・14日(日)開催

1: 夜の新都心めぐり
 2: 建築家「Gangiが丸ごと」
 3: 建築家「夜の素顔」

同時開催
【夜の体ともえ祭り】

▲**駒PJ**「ヨルトモ'08」

まちなみぎやらりー
 まちなみぎやらりー

▲**高山PJ**
 「まちなみぎやらりー」

2008

木でひみつきちをつくってみないか

第2回・光月工房

11.07 13:00-17:00

夢見るくら 建物公開イベント
 2008年11月1日・2日

夢見るくら 絵画コンテスト
 発表会開催☆

同時開催
夢見るくら カイズラリー

▲**佐原PJ**「夢見るくらイベント」

ぐるぎ+
 8月8日(金)オープン!!

▲**佐原PJ**「ぐるぎ+」

浅草PJ
 「光月工房」

建物公開 佐原の原動力展

▲**佐原PJ**
 「佐原の原動力展」

ヨルトモ '10

▲**駒PJ**「下新町灯りあそび」

清水 みなの資源探しウォーク

11月22日 10:00-17:00

▲**浅草PJ**
 「第四回光月工房イベント」

▲**清水PJ**
 「みなの資源探しウォーク」

清水 みなの資源探しウォーク

11月22日 10:00-17:00

▲**浅草PJ**
 「第四回光月工房イベント」

▲**清水PJ**
 「みなの資源探しウォーク」

ミナトブンカサイ ひにち 11月25日(日)

▲**清水PJ**「ミナトブンカサイ(幼稚園児向け)」

2012

▲**駒PJ**
 「駒PJ研究展示」

夏休み木工教室 (光月工房)

▲**浅草PJ**
 「夏休み木工教室(光月工房)」

鹿兒島PJ

▲**駒PJ**「下新町灯りあそび」

▲**駒PJ**「下新町灯りあそび」

清水 みなの資源探しウォーク

▲**清水PJ**「清水みなの散歩」

2013

▲**駒PJ**
 「駒PJ研究展示」

看板建築をはじめとした神田の近代建築

▲**駒PJ**「藤森先生レクチャー」

超多町探検

▲**駒PJ**「超多町探検。告知ポスター」

吉里吉里ギャラリー

▲**大館PJ**「吉里吉里ギャラリー」

2014

▲**駒PJ**
 「駒PJ研究展示」

超多町探検

▲**駒PJ**「超多町探検。告知ポスター」

レトロフト 2F

▲**駒PJ**「下新町灯りあそび」

前々頁、前頁で表現されたものを「多くの人にわかりやすく伝える」よう加工したポスター・チラシは、報告書のように後世に残るとは限らない。しかし、これらの中には都市をデザインする上でどのように多主体と良好な関係を築くかといった重要な役割を担っている物も多い。そのデザインや工夫を追うために出力して比較検討した際、それぞれ以下の点が重視されているように感じた。

それは「PJの"いる"」と「まちの雰囲気」のバランス。まちの人に興味を持ってもらうためには、ある意味目を惹く奇抜さと目新しさが必須である。一方で、まちに馴染む色使いや表現も併せて考える必要がある。この二者をバランスよく存在させることで、はじめて東大という名前バリューではなく、共にまちのことを考える仲間として受け入れてもらえるのではないだろうか。

(編集: M1 中井)

様々な「伝えかた」を覗いてみる

How Do We Feel about "History of Design in Urban Design Lab."?

次の世代にも「伝える」デザイン

砂塚 大河 (M1)

これまでのマップやチラシ、スケッチを並べてみると、プロジェクト毎にまちの雰囲気や当時在籍していたメンバーの「色」が如実に表れていて、その多様さに驚いたと同時に、「わかりやすく伝えること」の手法として、とても参考になりました。

諸事情により、今回調べることができたのは比較的近年活動していたプロジェクトのデータに限られており、これらは研究室におけるこれまでの蓄積のごく一部に過ぎません。より時代を遡っ

た悉皆的な調査を行うことにより、都市デザイン研究室のデザインの特徴や傾向を深く考察することも面白いのではないかと思います。

現在進行形で絶えず生まれ続けているデザインたちも、研究室の長い歴史の上に成り立っており、かつ次の世代の土台となるものであることを改めて感じることができました。このことを常に意識しながら今後もプロジェクトに取り組んでいきたいと思っています。

「伝えかた」の試行錯誤を引き継ぐこと

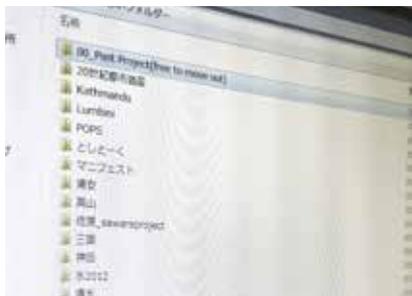
中井 雄太 (M1)

私は本企画のデータ参照元となったサーバーを日常的に利用しません。そんな私が初めてデザ研のサーバーの奥深くに潜って見えてきたのは、今まであまりよく知らなかったPJと関わった人達の生々しい努力の痕跡でした。

現在活動中のPJは徐々にその中心をドライブ上に移し、私の参加するPJでは完全にドライブ上のやり取りに終始するようになりました。そのため、過去のPJは勿論、同時並行で進む他のPJの様子を窺い知ることすら少なくなってきたのではと思います。確かにドライ

ブで議事録を同期させ、ファイルも共有することは、MTG・作業を円滑に進める上で非常に重要だと感じています。しかしその中で、今後は引継ぎ、遺されることなく消えていく活動の痕跡も多くあるということもまた重要な事実です。

手を動かした痕跡は勿論、微調整を繰り返した画像やイラレデータが決して綺麗な状態ではなく遺り、引き継がれていくことにPJ活動のもう一つの意味があるのではないかと私は本企画を通じて再認識しました。



Information

1月のウェブ記事



カトマンズの現地調査の様子をお伝えします!
12/8
ネパールにおける文化財の被災調査について、9月に行った第1回現地調査と11月21日から12月8日までに行った第2回現地調査の報告。
※ウェブ記事投稿が1月中のため掲載



都市デザインの先駆けを辿る 小藤田勉強会
1/15
千代田区役所の小藤田正夫様、元都市環境研究所の佐藤賢一様をお招きして行った中神田五町会地区計画に関する勉強会の報告。



ビジョンの骨子作りの作業を進めています!
1/19
三国プロジェクトの今年度の目標である、「空き家活用を通じた三国のまちづくりビジョン」の提案に向けた作業に関する報告。

是非ご覧下さい: <http://ud.tu-tokyo.ac.jp/ja/blog/>

2月の予定

- 2/1-2 M2 修士論文最終発表
- 2/8-9 M1 修士論文ゼミ
- 2/16 B4 卒業設計発表会



編集後記

中井 雄太

あけましておめでとうございます。突然ですが、私の今年の抱負は「熱いお茶を飲む時間を作ること」です。昨年、東大に院進してからは慣れない出来事が多いためか、毎日がとても長く感じられていましたが、最近は慣れからかどんどん加速し始めたように感じています。そして今年度は年度末のPJ報告、就活、修論と濃密かつ多忙な1年になると思われま。そんな日々でも熱いお茶が飲めるようになるまでじっくりと腰を据えて物事を概観する時間を大切に、研究室生活にメリハリをつけていきたいです。